

# 福祉の仕事の魅力とは？

今回も市内の福祉事業所で働く方のインタビューをお届けします。やりがいや魅力にあふれた福祉の仕事。そんな仕事に皆さんも就いてみませんか。

## NPO法人きづなまいはらっ子クラブ 北川 真美子さん

放課後に小学生の預かりを行う放課後児童クラブで主任として勤務。主に、子どもたちの見守りや、保護者との連絡調整を日々の仕事としています。

**【普段の仕事はどんなことをされていますか】**

子どもたちが来る前に利用予定表の確認や、施設内の清掃・消毒を行います。その後職員ミーティングを行い、子どもたちを小学校まで迎えに行きます。子どもたちが来てからはおやつや勉強、遊びの見守りや、迎えにこられた保護者に子どもの様子等をお話させてもらっています。

**【福祉の仕事をしたと思ったきっかけは何ですか】**

以前も教育関係の仕事をしていましたが、退職を機にお声がけをいただいてまいはらっ子で働くようになりました。職員の中には、様々な仕事を経験したり、いろんな特技を持っている者が多く、それぞれの良さを出し合っていることができています。私もそれまでは小さい子どもを相手にする仕事ではありませんでしたが、みなさんに助けられながら8年が経ち、今に至っています。

**【福祉の仕事をしていてやりがいと感じることは】**

子どもたちの成長を間近で見ることができるとは魅力だと思います。昨日までできなかったことが今日ではできるようになったり、歯が生え変わりによく抜けたりと、子どもの成長に立ち会えます。また、保護者と毎日顔を合わせてお話しさせてもらっていると、保護者が一生懸命子どもを育てておられる姿に出会うことができます。子どもたちの成長と一緒に喜び合うことができるのはうれしいですね。

**【苦労している点】**

まいはらっ子は低学年の活動場所を旧米原幼稚園に移して3年目になりますが、毎日100名程度の利用があります。支援員が見守りを行っていますが、人数が多いため、細部までゆきとどかないこともあります。また、最近は新型コロナウイルス感染症対策を行っていますが、子どもたちに感染から命を守る方法を教えることがなければなりません。おしゃべりするときにはマスクを外さない、大勢で集まる時は距離を取るなど…あれはダメ、これはダメと管理的には言わないようにしていますが、命を守るためにどうしても大きい声が出てしまうこともあります。そういったコロナ対策が、子どもたちの成長に影響しないか心配しています。

**【これから福祉の仕事をする人にメッセージ】**

子どもたちの成長に立ち会えるというのは素晴らしいことです。たくさん的人生初に出会えます。私自身、学童で働いていなかったら、大声をあげて笑うこともなかったと思うほど毎日笑いは絶えません。学童の仕事は、職員自身が子どもたちから刺激を受け、成長できる仕事だと思います。

**【事業所のPR】**

**【求人募集、働きやすい職場づくりなど】**

コロナ禍で中止をしていますが、まいはらっ子では6年前から彦根にあるミシガン州立日本センターと連携して、留学生との交流を行ってきました。また、夏休みにはプールや流しそうめん、夏祭り等子どもたちが楽しめる活動を開催してきました。園庭ではきゅうりやトマトを育て、収穫したものを子どもたちに提供しています。苦手の野菜でもみんなと一緒に食べられる子もいるんですよ。

イベントや取り組みなど、職員からの発案は「やってみよう」と取り組める職場です。また、職員の人数が多いので、休みたい日に日に休める環境ですね。

**【コロナ禍で感じた思い】**

小学校休校中は職員の体制が整わず苦労しました。一方で、休校となっても、子どもたち、親御さんたちの暮らしは続いています。誰かが支えなくてはなりません。学童は子どもたちが密集して遊ぶ機会が多く、感染リスクが高いため、消毒の徹底だけでなく職員自身の体調管理には特に気を付けました。加えて、子どもたちにはウイルスから自分の命を守る方法を伝えています。保護者から、職員を労う温かい言葉をかけていただくこともありました。

今後、子どもたちが集団になるイベントは中止しなければならず、どのように子どもたちが楽しめる場を作るか思案しています。

ヘルパーステーション山東伊吹 澤 逸子さん  
ヘルパーステーション米原近江 田中 幸子さん

訪問介護員としてパートタイムでの勤務。高齢者や障がいのある住民の方々のお宅を訪問し、利用者にあわせて入浴のお手伝いや買物・調理、掃除などを行ったり、一緒に外へお出かけしたりしています。

### 【普段の仕事はどんなことを

されていますか】

利用者の自宅を訪問し、支援計画の内容に沿って決められたサービスを提供します。買い物や調理、掃除などを一緒に行ったり、自宅での見守りをしたり、作業所への準備やお見送り等内容はさまざまです。時間も30分から2時間、お出かけする時は半日一緒に過ごすこともあります。

### 【福祉の仕事をしていて

やりがいと感じることは】

利用者から「ありがとう」と感謝の言葉をもたらした時や何気ない声かけで笑顔になられた時にやりがいを感じます。また、利用者の生活が豊かになるためにヘルパー同士で日々情報交換を行い、うまく関わりを持つことができた時にこの仕事をしていて良かったなと達成感を感じます。

### 【あなたも福祉の仕事に！】

いろんな方のいろんな人生に関わらせてもらえ、人の生き方が学べる仕事です。自分の気持ちに素直に一生懸命していると、誰もが気持ちを理解してくれてその気持ちに伝えてくれます。その時に、「この仕事をしていて良かったなあ」と感じます。人と人との関わりを大切にしたい方にはとてもオススメな仕事です。

### 【コロナ禍で感じた思い】

感染症に対する不安を抱えると同時に、「私たちが暮らしを支えている」「命を預かっている」との使命感から、手洗い・うがいを始め、利用者ごとにマスク・エプロン・靴下等の着替え、車の中の消毒も徹底し、感染症を持ち込まない・感染させないという思いで仕事にあたりました。

### 【福祉の仕事をしようにと思った

きっかけは何ですか】

澤さん…たまたま時間ができた時に、ヘルパー養成講座があり何気なく受けてみました。  
田中さん…子育てが一段落し、なにか資格をとろうと思いいヘルパー養成講座を受けました。

### 【苦労している点】

決められた時間の中で、いかに利用者の気持ちを取りながら効率よくサービスを提供できるか。そのバランスが難しいです。自分自身の心と葛藤しながら、利用者に寄り添い、声かけを行うことに日々苦労しています。

### 【事業所のPR】

ヘルパーステーションでは職員同士のチームワークが抜群です。何かあっても気軽に相談し合えたり、助け合えたりできる関係で、居心地の良い職場があるからこそ、ヘルパーみんなが安心して働くことができます。ヘルパーの仕事に興味がある方は、ぜひ一緒に働いてみませんか？